



八小 CSだより

令和7年3月24日 第8号

学校経営協議会 会長 牛込 晴三千 校長 井口 修

HP <http://www.kodaira.ed.jp/> E-mail gakkou@08.kodaira.ed.jp

6年生の皆さん、保護者の皆さま、

ご卒業おめでとうございます！

令和6年度 第10回学校経営協議会報告

日時 場所: 令和7年3月5日(水)午後4時～5時15分 図書室

○会長挨拶

荒川副会長から、業務の都合で年度最後の会議に出席できないことをお詫びしたい。この旨皆さんにお伝えくださいと伝言がありました。

本日の協議事項の議題は、令和7年度学校経営方針と教育課程の承認があります。

今年度の経営協議会活動と地域学校協働活動を振り返り、校長先生が示された学校運営の基本方針に反映する必要がある協議したいと思います。

もう一つ、低学年保護者会当日、児童を校内で預かる場を設けることについて、委員の皆さんのご意見を頂きたいと思いません。

【学校の現状報告】

○校長より(最近の様子)

- ① 1年間ありがとうございました。今年度も地域、保護者の皆様に支えられて心強かったです。特に、本音トークや熟議をしていただき、教職員が困っていることにも寄り添っていただいた時、CSであることのありがたさ、対話の大切さ実感しました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。村岡PTA会長が、本日で最後です。ありがとうございました。三木PTA新会長、イストン新副会長、地域教育コーディネーターとなる池島様、コミュニティケアリンク東京事務局長の中川様が、新たにCS委員として加わります。どうぞよろしくお願いいたします。
- ② 昨日の6年生を送る会には、たくさんの方に参観していただきました。全学年、本気で練習をして、頑張ったと思います。カッコいい6年生の背中を見て、下級生が自然と育つのが、八小の伝統です。
- ③ 今年度も、全学年で児童発案の活動が多く生まれました。最近では、代表委員会が「八小のいいところを知ろう」を実施し、渡り廊下に大きな木が出現。あったかい言葉でいっぱいです。
- ④ 先週のぱちぱちくんふれあいタイムに18人が参加しました。新1年生の保護者も含め顔見知りが増え、温かい雰囲気でした。会話をすることの大切さを感じました。
- ⑤ 副校長の助言の下、主幹教諭、主任教諭が自ら動き、八小をつくっています。教諭も成長。非常にチームワークがよいです。教員発案(ボトムアップ)も大切にして、人材育成の八小をめざします。異動の際、八小に来たいですと申し出ている方も複数名います。
- ⑥ 保護者の皆様と話をする機会を増やすため、来年度、より多く、学校での児童の様子をお伝えする手立てを検討しています。期間中以外でも、ご希望があればいつでも対応したいと思っています。
- ⑦ 携帯、オンラインゲーム、学習用端末の学習以外での使用等で、児童が深刻な事件に巻き込まれることが心配です。悪意のあるプロ集団とつながってしまう可能性もあり、素人では見抜けません。低学年のうちから指導することを検討しています。各ご家庭でも情報を集めて、指導をお願いします。

⑧ AIドリル、モノグサについては、来年度は一旦使用をやめて、学習用端末でできる、デジタルドリル(無料)に変更します。モノグサの効果はありましたが、モノグサが合わないお子さんもいました。鉛筆で書くことも大切にしたい、という思いもあります。その中、試行期間(無料)が終わり、高い使用料金を全員から徴収すべきではないと判断しました。

○教務より ・令和6年度 教育活動報告について。

・令和6年度 教育課程届提出済み。教育計画は作成中、来年度4月のCS会議に配布予定。

○生活より ・来年度に向けて、八小児童が安全に、安心して生活するための「八小生活スタンダード」の内容を見直している。時代の流れに合ったきまり・約束にしていくことで、児童・教職員全員が、納得して守れるものにしていく。

○特活より ・集団がよりよくなるためにできることはなんだろうということを考えてやってきた。異学年交流もできて充実した1年となった。はちの子まつり、6年生を送る会など、参観ありがとうございました。

○研究より ・外部と連携を強化できた1年間。生活・総合を軸にしつつ、他教科でも力を付けるべく研究を進めていく。12月に研究発表を行う。ご協力をお願いします。

○中学校より

・3年生の進路が決定し、ほっとしている様子が見受けられる。

・学校だよりに「伝えなければ伝わらない」という記事を載せた。今は、相手が嫌がったら法令上のいじめになってしまうこともあり、相手に気を遣いすぎて言えないことがある。友達関係のトラブル経験者はとくに相手に言えなくなってしまう傾向がある。しかし、相手を思う気持ちがあつて、きちんと伝えることは本当に必要なことだと思う。いろいろな解釈の仕方があり、コミュニケーションは本当に難しいが、そのときに言ってもらったことが一生の感謝になることもある。

・標準服が新しくなる。

・次年度から、八小の学校経営協議会にはオブザーバーという立場で参加させていただく。

【地域情報】

○OPTA

・1年間ありがとうございました。会則の改定、繰越金を活用して雲梯と一輪車の補助スタンドの設置、持続可能な活動に向けた検討を進めてきました。次年度の新会長、新副会長も引き続きよろしくをお願いします。少しでも学校に関われたことを嬉しく思います。

○学校支援関連

4月23日(水)9時より、1年生全員の図書ファイルの作成を行います。ファイルが出来上がらないと図書の授業が始められないのですが、図書ボランティアだけでは人手不足なので、お手伝いいただくと助かります。

○青少対関連

・3月22日(土)、三中の体育館に於いて、恒例のスプリングコンサートが行われます。14:30 開演です。実績のある三中吹奏楽部の演奏を是非聴きにきていただきたいと思います。

・八小青少対は6月7日(土)に八小グラウンドに於いて“青少対まつり”を行う予定です。開催時刻及び出店内容の詳細はこれから検討いたしますが、ゲームコーナーや飲み物の販売になると思います。詳しくは別途お知らせいたしますが、多くの方々にご参加いただきたいと思っております。

○見守りネットワーク

・3月の見守りネットワーク定例会議は取り止め。

・見守りネットワークニュースについて、PTAの方々、1年間お世話になりました。今回2月号は見守りの会員のインタビュー、見守り活動の箇所の紹介。特に20年間見守りを続けてくださっている北条さんのインタビュー記事は優れたアイデアだと感じました。有難う御座いました。これからもよろしくをお願いします。

○地域防災を考える会

1. 「おすそわけ」(1月25日公開授業「地域防災体験」)の配布作業

印刷2100部、市防災危機管理課に依頼。配布先は、八小640部のほか19先(1丁目自治会400、2丁目自治会400など)、現在配布作業中ですが、結構手数がかかるので、配布担当者を明確にする体制づくりが必要。

2. 「避難所開設準備委員会連絡会」の開催について

3月8日(土)10時から中央公民館で開催、準備委員長として参加。参加者はCS会議のメンバーがほとんどですが、当避難所のように八小地区・地域防災を考える会のような組織はないようです。各地域の避難訓練状況や訓練の周知、参加依頼状況などを討議。「おすそわけ」も配布しました。

○放課後子ども教室

令和7年度の登録・同意、申し込みのためのしおりを作成しています。子ども教室への参加には、保護者のサポートが必要です。写真掲載については、「子ども教室の広報、クラブ紹介の展示のために利用することを了承していただきます」と直しています。今後とも放課後子ども教室へのご理解・ご協力をお願いいたします。

【検討事項】

(1) 令和7年度の学校経営方針と教育課程について(校長)

(委員発言)

- ・保護者にはどのように発信しているのか。
→年度初めの保護者会に配布、ホームページにもアップされている。
- ・学校経営方針のさらに上には何があるのか。
→文部科学省の方針、東京都の方針、小平市の方針、と順に降りてきているものを受けて作成している。
- ・中央教育審議会の報告書を読むと、八小が国や都、市の指針を受けて動いていることがわかる。非常に丁寧にできている学校経営方針だと感じる。
→文部科学省では、次の学習指導要領についても検討が進んでいる。新しい学習指導要領の内容を教員によりよく伝わるようにしていくことが、文科省が課題にしているところ。そのための「教科調査官」という立場の方がいるが、実は八小は、3月に、その教科調査官にご来校いただき、校内研究について助言をいただく予定。また、教科調査官とは別に「視学官」という立場の方のご指導もいただきながら、校内研究を進めている。
- ・学校経営方針に鈴木遺跡について触れられている。この度、鈴木遺跡の2回目の検討委員会が立ち上がった。具体的にどう整備するかを検討している。旧石器時代のため地下に埋蔵されており、どういふものを目に焼き付けるかという課題があるが、対象を小・中学生にしぼる、という方針もある。小中学生を対象にした遺跡公園にしたいため、ご意見があればお知らせください。
→鈴木遺跡は日本に誇れるレベルの遺跡のため、押し付けにならないように配慮しながら、児童の学びに活かせたらよい。

(2) 保護者会時の児童預かりについて(校長)

(委員発言)

- ・保護者からの要望が多く、再度検討したい。
→保護者の切実な思いを聞くと、祖父母の預かり、友達関係での預かり、放課後子ども教室への丸投げはよくないと考える。高学年の保護者、放課後見守り、専科の先生の3者で体制を組むなど、検討したい。
- ・こどもが低学年の時に預かってもらったことのある保護者が、こどもが高学年になったら手伝ってくれる、といった流れができればいい。
→学校と地域と保護者がスクラムを組むチャンスだと捉えている。
- ・年齢はどのくらいの児童を預かるのか。
→1・2年生。3年もあるかもしれない。一人で留守番が難しい児童を考えている。校庭で遊んでいていい、という体制も考えられるが、救急車を呼ぶ怪我をした例がいくつも報告されているため、できれば避けたい。
- ・保護者の中では「お願いね」という気持ちの方があまりにも多い印象。高学年になったらやってあげようという流れをどのように浸透させていけばよいか。
- ・全体にその「おたがいさま・おかげさま」を浸透させていくことに難しさを感じる。
- ・安全面を考えた大人の声に、耳を傾けない児童も増えている。
- ・やるのであれば、念書をとるくらいなことが必要かも。もし何かあった場合は責任がとれない。
- ・条件をしぼって預かってはどうか。
- ・人数が事前にわからないと大人の体制がつかれない。
- ・他校の情報では、保護者会をオンラインと併用すると、学校に来る保護者が減った。教室には数名。学校の様子に分かれればオンラインでもいいのかも。
→教室に数名だとよくないとも考えている。直接顔を見る、話すなど、担任と保護者、あるいは保護者同士で対面で話す機会も大切にしたい。

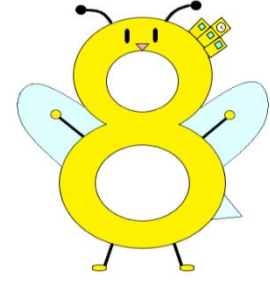
・預かっている側は児童の日頃の様子がわからないため、預かるのは難しい。ボランティアで手が上がらないのもそういった不安があるのかも。以前多いところは80～90名を預かっていた。

○副会長より

児童発案が増えたことはすごいこと。それを実現させるために下支えしている先生方に感謝。委員としても学校経営協議会について、あるいは学校をどのように支えていけばよいかについて、より考えるようになった。地域のものとして、どういうふうに関わっていけばよいか、考えていきたい。

○会長より

この1年、法で規定している協議会の役割である、学校運営にかかわる課題・問題についての協議・熟議を目指してきました。委員の皆さまのご協力と各方面から頂いた助言等に支えられて、一歩前に進むことができたと思っております。同時にまだまだ道は遠いとも感じております。1年間ありがとうございました。



次回の学校経営協議会は
5月14日(水)午後16時00分からです。
傍聴ご希望の方は学校へお問い合わせください。

小平市立小平第八小学校 〒187-0011 小平市鈴木町 1-355
TEL: 042-321-4872 Fax:042-321-4893

